

COP14報告会



生物多様性わかものネットワーク

矢動丸琴子

本日の構成

ユースの視点からの現地での報告

1. 本会議場(議題・ステートメント)
2. サイドイベント
3. ブース・キャンペーン
4. アクシヨン

自己紹介

矢動丸 琴子(やどうまる こここ)

千葉大学大学院園芸学研究科博士後期課程1年在籍。

専門は環境健康学・人間植物関係学・環境教育学。

JYBNへは2018年4月に加入し、同年10月より第3次運営の幹事。

現政策提言の国際チームのリーダー。IUCN-J事務局アシスタント。

注目議題：生物多様性の主流化、ポスト2020枠組



生物多様性わかものネットワークとは？

生物多様性やその問題に関して活動や研究を行う

学生と若手社会人のネットワーク団体

愛知目標およびポスト愛知目標への貢献・達成を目的に活動

現在の会員数：85名

活動している会員：40名ほど

活動体制：

プロジェクトチームごとに活動

3カ月に1度、全体で定例会を行う

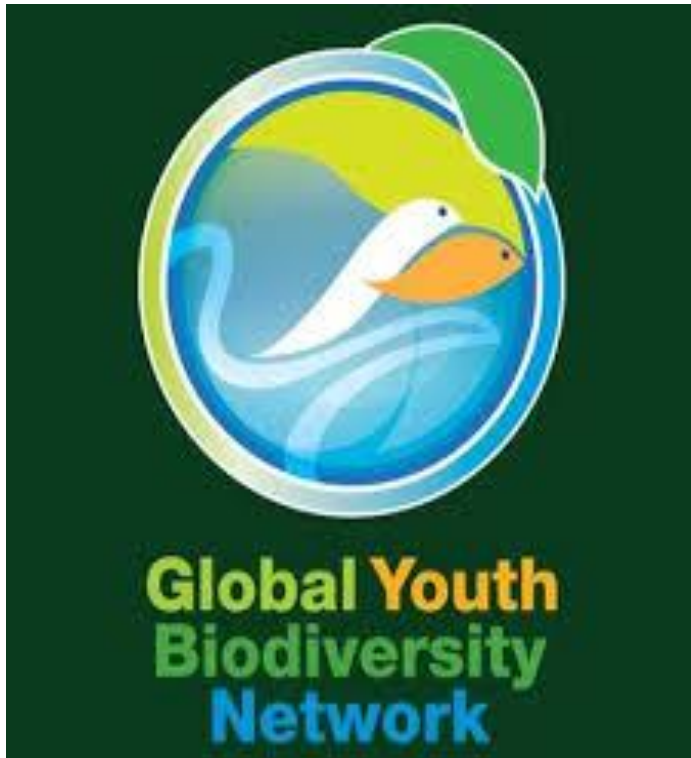
学生メンバーの所属大学：

東京大学・千葉大学・信州大学・九州大学・京都大学・学習
院大学・筑波大学・東京農工大学・横浜国立大学・上智大
学・中央大学・明治大学・東京都市大学・酪農学園大学



ユース組織について

GYBN(Global Youth Biodiversity Network)



生物多様性喪失を防ぐことを目的とする
世界中のわかものネットワーク

今回はドイツ・ブラジル・ボリビア
カナダ・メキシコ・ケニア・マダガスカル
南アフリカ・インド・シンガポール
フィリピン・中国・日本からの約40名で活動

GYBNのロゴマーク

議題紹介：生物多様性の主流化

議題の経緯

- COP12

生物多様性の主流化は重要であるという認識が生まれる

- COP13

農林水産業や観光セクターを中心とした生物多様性の
主流化に関する決定



COP14にて

エネルギー・鉱業、インフラ、製造・加工、健康の分野に
おける生物多様性の主流化を検討することを決定(COP13)

議題紹介：生物多様性の主流化

COP14決定

★長期的な戦略アプローチの確立

★ポスト2020枠組に主流化を組み込むこと

◎付属書として

「主流化への長期的戦略アプローチの提案」と

「主流化に関する非公式諮問グループのための指針」が追加

< 交渉でもめていたパラグラフ (13(e)) >

自由意志を発揮できる状態での事前の情報提供に基づく同意(=FPIC)を得る目的で関連するセクター(IPLCs,女性,ユース等)の参加を促進

⇒ 「FPIC」は先住民地域共同体などにとって特に重要

条約の本文では少しの文章の違いで意味が変わってしまうので
言い回しにも気を遣い、もめることが多い

ユースの活動：ステートメント

●本会議場での発言

★ユースとして各議題に対して発言

★ユースにも席が設けられ立場が確立されている



閉会式でのステートメントの様子

「野心と意志があれば2年間で達成できることはまだまだたくさんあります。(中略)
私たちが2年間に過去の過ちから学び、成功したCOP15と強力で実行可能な北京における2020年以降の合意のための強力な基盤を構築するために、私たちはこれを自分自身、子供たち、そして未来の世代に捧げます。私たちは皆さんと一緒に働く準備ができています。一緒にやりましょう！」

閉会式でのステートメント一部抜粋

ユースの活動：サイドイベント①

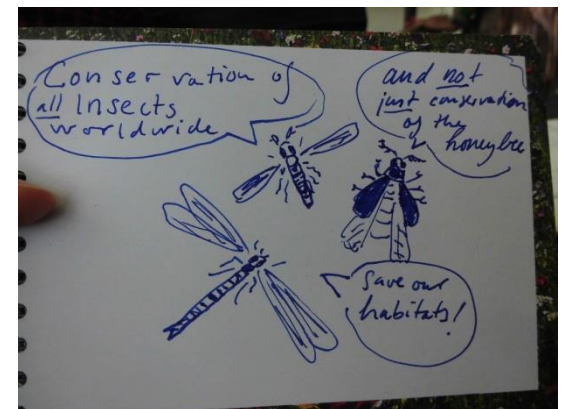
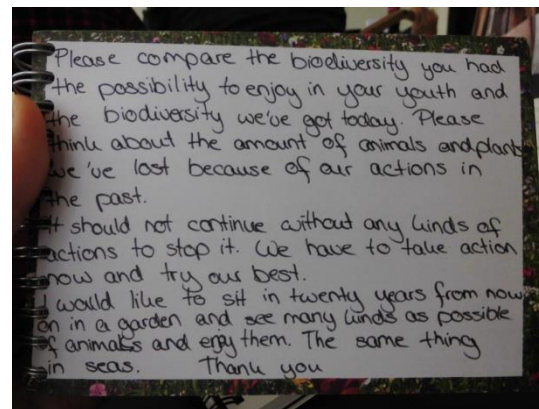
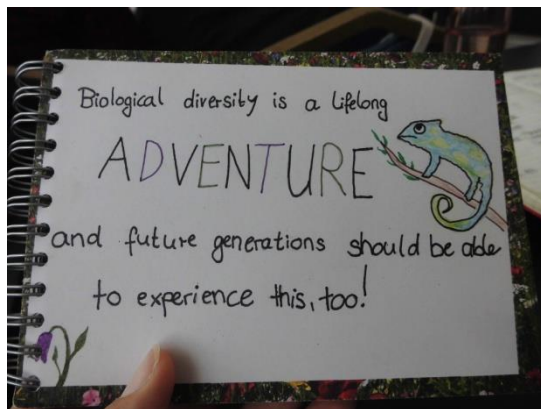
●各国ユースのイニシアチブの紹介

★インド、ドイツ、インドネシア、フィリピン、エジプト
中国のユース延べ9名によるイニシアチブの発表

◎ドイツユースの事例【ポストカードキャンペーン】

- ・若者の意見を1つ1つポストカードに記載し
1束に集約するキャンペーンの実施

⇒ 日本でも実施決定！本日より開始



ポストカードの例

ユースの活動：サイドイベント②

- CBD in a Nutshell 第2版完成！出版イベント
 - ★ 生物多様性条約への参画のためのガイドブック
 - ★ 第1版はCOP13(2016年)に出版
 - ★ 各愛知目標について視覚的に理解が可能なように改訂



CBD in a Nutshell 第2版



GYBNと関係者による集合写真

COP14のブース例

●日本のブース

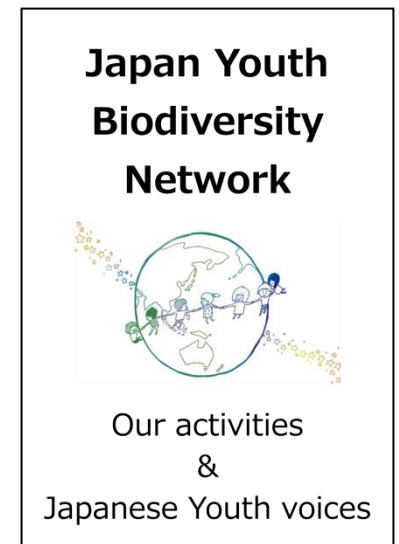
- ★環境省・農林水産省・経団連自然保護協議会の
ブース運営のお手伝い
- ★わかものネットの紹介冊子の配布・説明(環境省のご厚意)
- ★愛知県の大村知事へのわかものネットや
今後のユースの計画に関する説明



環境省ブースの様子



大村知事への説明



COP14での配布冊子

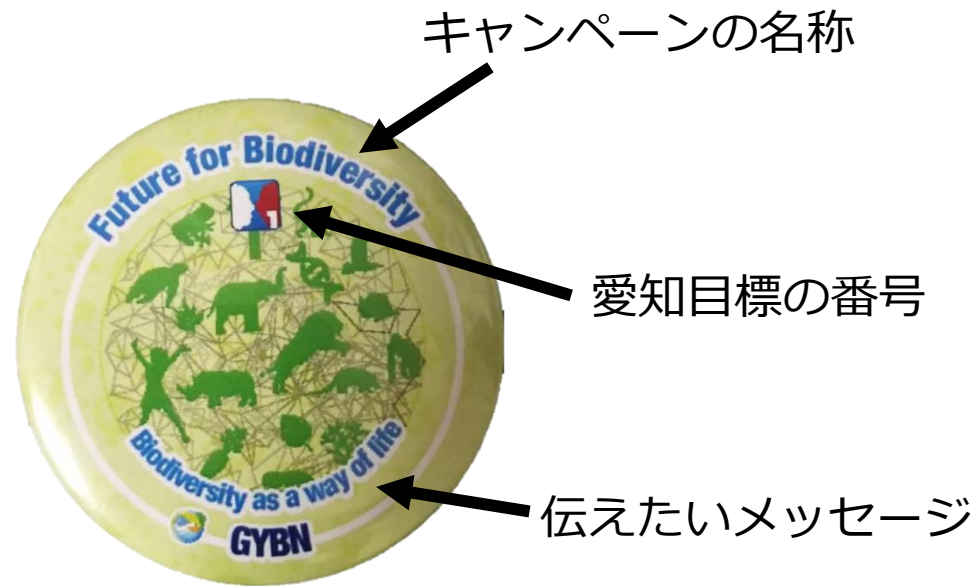
ユースの活動：ブース

●ブースの運営

- ★缶バッジとポストカードでの愛知目標のキャンペーン
- ★写真を貼り各国ユースの活動を紹介

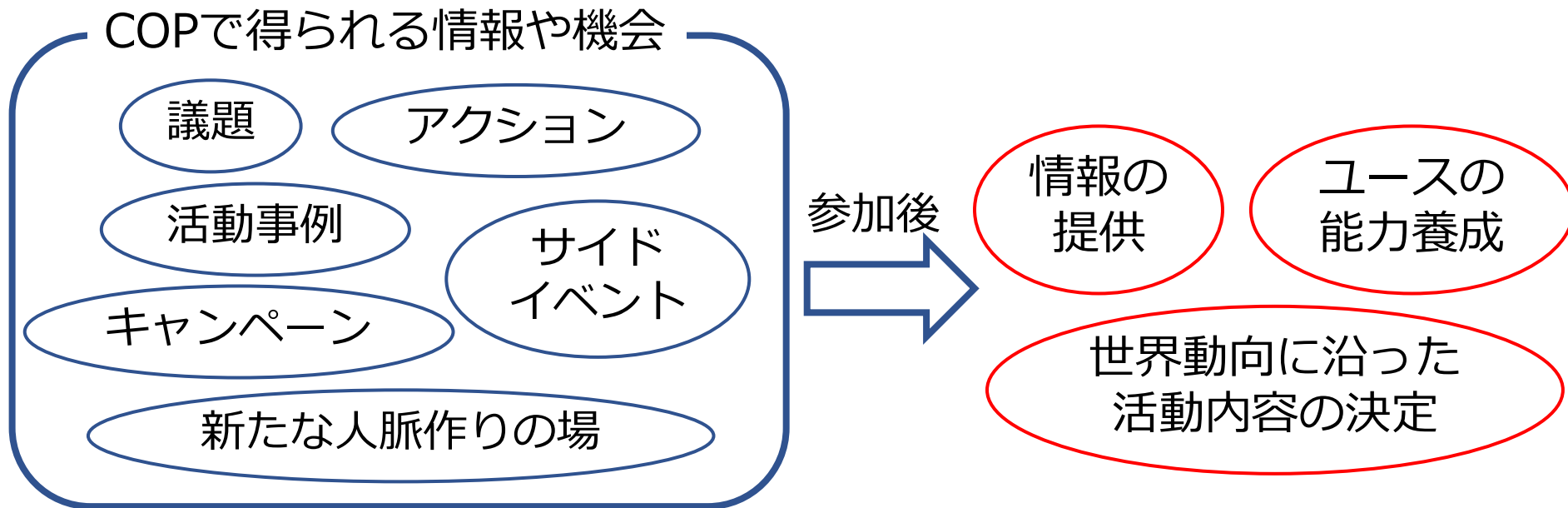


GYBNのブースの様子



缶バッジの例(愛知目標1)

COP14の参加成果



- ★自らで体験したことをユースを含む専門家ではない方々にわかりやすく伝える重要性の再認識(報告業務)
- ★日本国内での活動に得た情報をどのように活かしていくのか？
⇒生物多様性2020わかものプロジェクトの立ち上げ

COP14の情報がもっと欲しい方へ

にじゅうまるプロジェクト(IUCN-J)HP : <http://bd20.jp/>

The screenshot shows the homepage of the IUCN-J website. A red box highlights the navigation menu, specifically the 'International Conference Report' link. Another red box highlights the main content area, which features a large banner for the 'International Conference Report' dated January 10, 2014. A red arrow points from the highlighted menu item to the main content area. The page includes a search bar, a navigation menu with links like '宣言をする', '活動を探す', 'お問い合わせ', and 'サイトマップ', and a main content area with a date '01年10月24日' and a '新着' (New) tag.

ユースレポートも多数作成しています！

ご清聴ありがとうございました



生物多様性あかものネットワーク

Mail: biodiversity.youth.network@gmail.com

HP: <http://biodiversity-youth-network.jimdo.com/>

Twitter: @wakamononet

FB: <https://www.facebook.com/biodiversity.youth.network/>